

## 6 大気環境関係データ

### ■概要

平成17年度における二酸化窒素、浮遊粒子状物質、ベンゼン等の環境保全目標の達成状況等は次のとおりです。

#### (1) 二酸化窒素

長期的評価による環境保全目標達成率は、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）で前年度に引き続き100%、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）は92.3%で改善傾向にあります。なお、濃度の推移についてはゆるやかな減少傾向にあります。

#### (2) 浮遊粒子状物質

長期的評価による環境保全目標達成率は、一般局と自排局で前年度に比べ僅かに低くなりました。なお、濃度の推移については緩やかな減少傾向にあります。

#### (3) 光化学オキシダント・非メタン炭化水素

前年度に引き続き全ての測定局で環境保全目標を達成しませんでした。なお、光化学スモッグ注意報の発令回数は10回でした。

#### (4) 二酸化硫黄・一酸化炭素

前年度に引き続き全ての測定局で長期的評価による環境保全目標を達成しました。なお、濃度は低い水準で横ばいに推移しています。

#### (5) ベンゼン等有害大気汚染物質

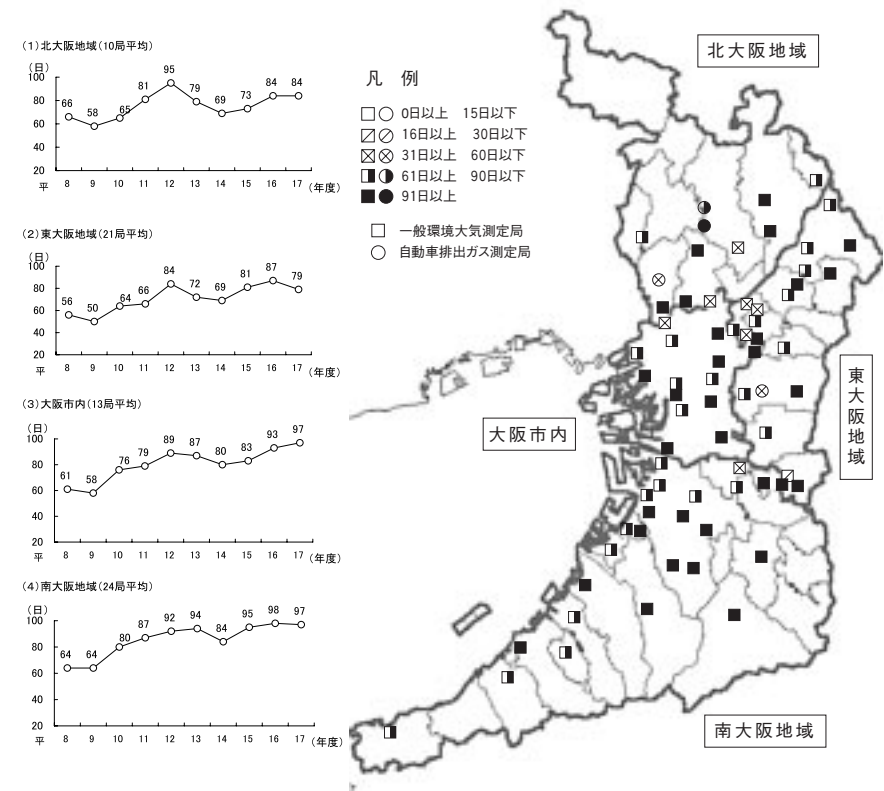
モニタリングを実施している有害大気汚染物質（19物質）のうち環境保全目標が設定されているベンゼンは、道路沿道13地点のうち12地点、一般環境15地点のうち15地点、固定発生源周辺3地点のうち3地点で環境保全目標を達成し、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタンは、22地点の全地点で環境保全目標を達成しました。

#### (6) アスベスト

2地点で測定した結果、大気環境中のアスベスト濃度は世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリアと比べて十分低い濃度でした。

## ■光化学オキシダントデータ

### 6-1 昼間の光化学オキシダント濃度が0.06ppmを超えた日数の地域別状況と推移



### 6-2 光化学スモッグ予報・注意報の発令回数及び被害の訴え人数の推移

年 度	平成8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
予 報 (回)	15	7	29	13	30	26	15	21	17	12
注 意 報 (回)	10	3	25	11	23	20	11	14	10	10
被害の訴え (人)	0	0	2	161	55	2	4	0	0	41